## 2026年8月26日(水)

一般演題

11:00 ~ 12:00 | 多目的会議室 (共用講堂 1階)

### [P1] ポスターセッション１

[P1-01] 東日本地域で市販されているハチミツの放射能分析

○猪瀬 聡史[1]、清水 優伸[2]、本多 貴之[2]、小池 裕也[2] (1. 明治大院、2. 明治大)

---

[P1-02] 底質性状分析に基づく多摩川支流野川における $^{137}Cs$ 動態評価

○清水 洋太郎[1]、光田 侑悟[1]、猪瀬 聡史[1]、小池 裕也[2] (1. 明治大学大学院、2. 明治大学)

---

[P1-03] 震災から 15 年：福島県浜通り地域森林における Cs137 の動態分析

○加藤 花夏[1]、池田 康彦[2]、長谷 正博[2]、原田 正光[3]、三浦 拓也[1] (1. 福島工業高等専門学校、2. 東京電力ホールディングス株式会社、3. NPO 法人いわき環境研究室)

---

[P1-04] 帰還困難区域内外における立木放射性セシウム濃度の比較

○山村 充[1]、氏家 亨[1]、荻原 有二[1]、室伏 文佳[1]、只野 雅貴[1]、赤間 亮夫[1] (1. 国土防災技術株式会社)

---

[P1-05] 森林隣接地域におけるリターの飛散による放射性セシウムの再分布への影響

○久留 景吾[1]、恩田 裕一[2]、加藤 弘亮[2]、三ツ倉 理恵[1]、茶山 真也[1]、野口 英之[1] (1. アジア航測株式会社、2. 筑波大学放射線・アイソトープ地球システム研究センター)

---

[P1-06] 浜通り河川のアユ中セシウム137濃度予測と遊漁再開に向けた取り組み

○操上 広志[1]、石井 弓美子[1]、和田 敏裕[2]、田中 憲一[3]、林 誠二[1] (1. 福島国際研究教育機構、2. 福島大学、3. 九州環境管理協会)

---

[P1-07] 福島県里山の放射性物質長期動態と環境調和型除染技術開発の提言（12）

○三浦 万結子[1]、大河内 博[1]、王 一澤[1]、速水 洋[1]、反町 篤行[2]、床次 眞司[3]、赤田 尚史[3]、勝見 尚也[4]、桧垣 正吾[5] (1. 早稲田大学、2. 東洋大学、3. 弘前大学、4. 石川県立大学、5. 東京大学)

---

[P1-08] 安定セシウム（$^{133}Cs$）添加液体培地における糸状菌２株のセシウム回収能の評価

○堀尾 優子[1]、八木 創太[1,2]、赤沼 哲史[1] (1. 早稲田大学、2. 理化学研究所)

---

[P1-09] 福島県の森林域における空間線量率と自然線量率分布の評価

○室伏 文佳[1]、氏家 亨[1]、山村 充[1]、荻原 有二[1]、只野 雅貴[1]、赤間 亮夫[1] (1. 国土防災技術株式会社)

---

[P1-10] 溶融塩・溶液処理による福島県土壌中の放射性セシウムの脱離に及ぼす焼成処理と溶液種の影響

○福田 剛琉[1]、田村 堅志[2]、渡邊 雄二郎[1] (1. 法政大学大学院、2. 物質・材料研究機構)

---

[P1-11] 帰還困難区域で屋外活動等している東京電力社員の年間追加被ばく線量

○斎須 要文[1]、内山 恵三[1]、江川 光洋[1]、草野 弘樹[1]、奈須 建吾[1]、吉田 正志[1] (1. 東京電力ホールディングス株式会社)

---

[P1-12] 森林生態系における土壌中の放射性Csの分布と移行

○玉木 林哉[1]、葛野 周太郎[1]、円道 一志[1]、島田 洋子[1]、池上 麻衣子[1]、徳地 直子[2] (1. 京都大学工学研究科、2. 京都大学フィールド科学教育研究センター)

## 2026年8月27日(木)

一般演題

11:30 ~ 12:30 | 多目的会議室 (共用講堂 1階)

### [P2] ポスターセッション2

[P2-01] セメント混合洗浄による溶融飛灰中のCsの可溶化の可能性

○山田 一夫[1]、安河内 隆仁[2]、新井 裕之[1]、櫻井 哲[3]、佐藤 愛子[4]、東條 安匡[2]、遠藤 和人[1] (1. 国立環境研究所、2. 北海道大学、3. 中間貯蔵・環境安全事業（株）、4. 東京パワーテクノロジー)

[P2-02] 無機系廃棄物の再資源化によるSr吸着材の生成と吸着能評価

○松崎 太希[1]、川井 貴裕[2]、田中 悠平[3]、遠藤 和人[4]、三浦 拓也[1] (1. 福島工業高等専門学校、2. 山形大学、3. 北海道大学、4. 国立環境研究所)

[P2-03] 放射性セシウムの固定化に向けた有色びん由来軽石を用いたポルサイト合成

○二瓶 遼[1]、本多 埜愛[1]、伊東 未徠[1]、伊藤 陽菜[1]、小澤 春愛[1]、荻野 煌太郎[1]、滝本 美紗希[1]、佐藤 梨乃[1]、吉田 愛梨[1]、箱崎 勇哉[1]、安齋 結[1]、小針 淳[1] (1. 県立福島高等学校)

[P2-04] 安積高校生による安積中学生への授業
「福島の課題を知り復興を考えよう」の報告

原 尚志[1]、○布施 陽馬[1]、南城 勇翔[1] (1. 福島県立安積高等学校)

[P2-05] 福島復興ワークショップ ～見て聞いて伝える復興～

原 尚志[1]、○角田 陽向[1]、阿部 里乃[1]、安斎 里菜[1]、乾 蒼一郎[1] (1. 福島県立安積高等学校)

[P2-06] 放射線をイメージする香りの調査と心理評価

○大谷 浩樹[1]、坪内 唯夏[1] (1. 帝京大学)

[P2-07] 除去土壌等の復興再生利用・最終処分ケースの費用構造における不確実性評価

○戸田 賀奈子[1]、岡 亮太郎[1]、斉藤 拓巳[1]、高田 もも[2]、三成 映理子[3]、保高 徹生[2] (1. 東京大学、2. 産業技術総合研究所、3. 国立環境研究所)

[P2-08] 除去土壌等の復興再生利用に関する福島県内の住民の意識調査
ー2地域における特徴の評価ー

○藤井 新子[1]、金井 裕美子[2]、高田 モモ[1]、保高 徹生[1] (1. 産業技術総合研究所、2. 元 産業技術総合研究所)

[P2-09] 除去土壌の再生利用実証事業と住民の合意形成プロセスに関する考察

○小原 優輝[1]、河田 賢斗[1]、万福 裕造[2]、勝見 武[1] (1. 京都大学、2. 農業・食品産業技術総合研究機構)

[P2-10] ポリマー土壌改質剤を用いた処理土壌のセシウム移動性や保水性への影響

○GATHUKA Lincoln W.[1]、FLEMMY Samuel O.[1]、遠藤 和人[1] (1. 国立環境研究所)

[P2-11] 地域活性化に向けたカンゾウの環境適応に関する研究

○原 尚志[1]、平山 陽子[1]、櫻井 悠宇[1]、鈴木 麻央[1]、板橋 凛[1] (1. 福島県立安積高等学校)

[P2-12] 住民にとっての帰住・復興とは何か ―場所愛着の観点からの聞き取り調査―

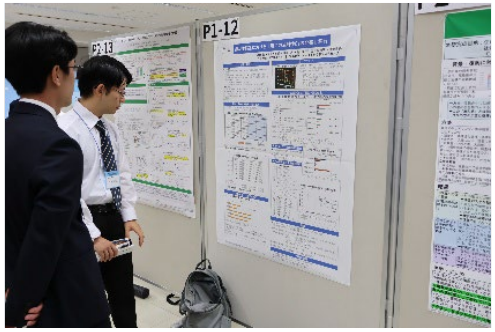
○太田 美嘉[1]、大沼 進[1]、水田 恵三[2] (1. 北海道大学、2. 尚絅学院大学)

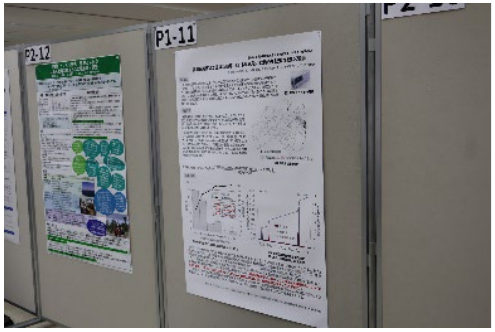
[P2-13] 環境修復のためのPFOA塩及びPFOS塩の熱分解挙動の把握

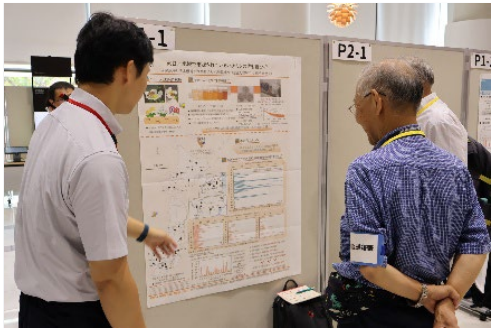
○倉持 秀敏[1]、大村 成二[1]、元木 俊幸[1]、島田 雄嗣[1]、小林 拓朗[1]、小井土 賢二[1]、松神 秀徳[1] (1. 国立研究開発法人国立環境研究所)

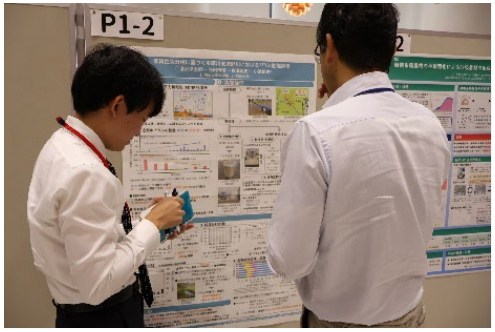
# ポスター発表 フォトギャラリー

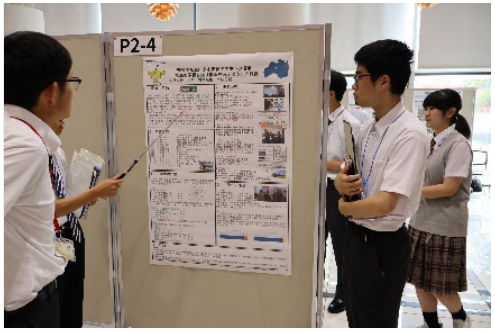


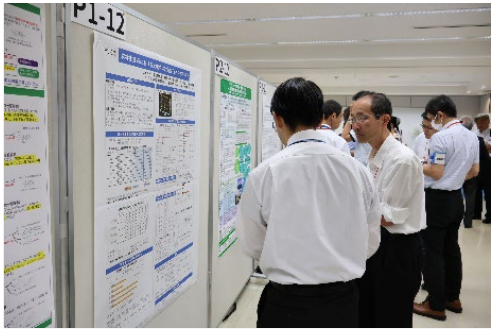
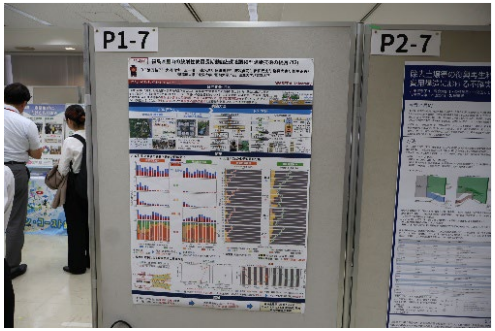
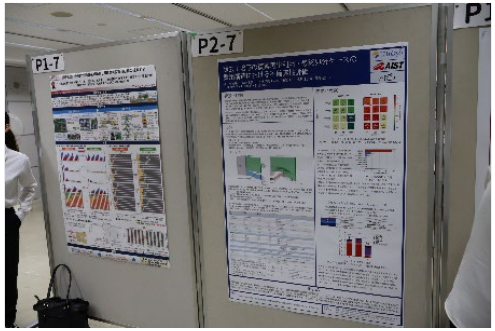
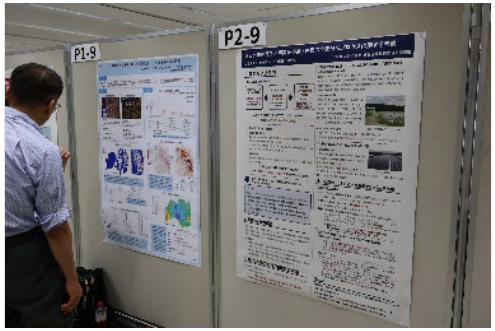
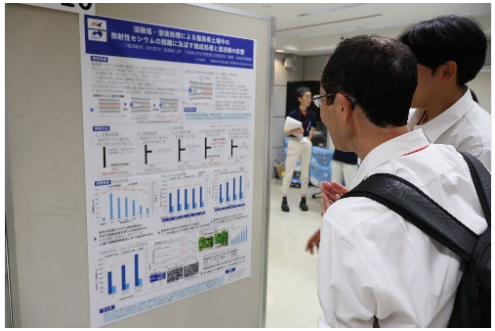
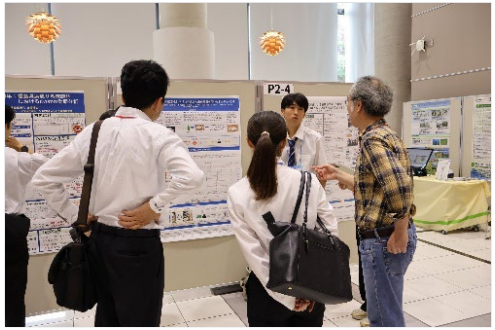
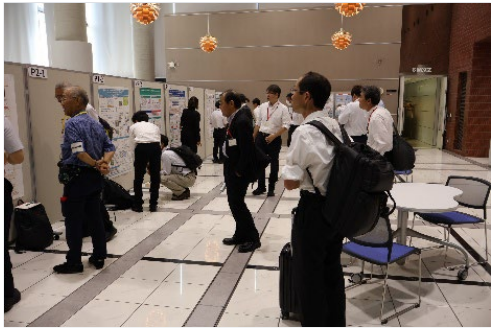








# ポスター発表 フォトギャラリー